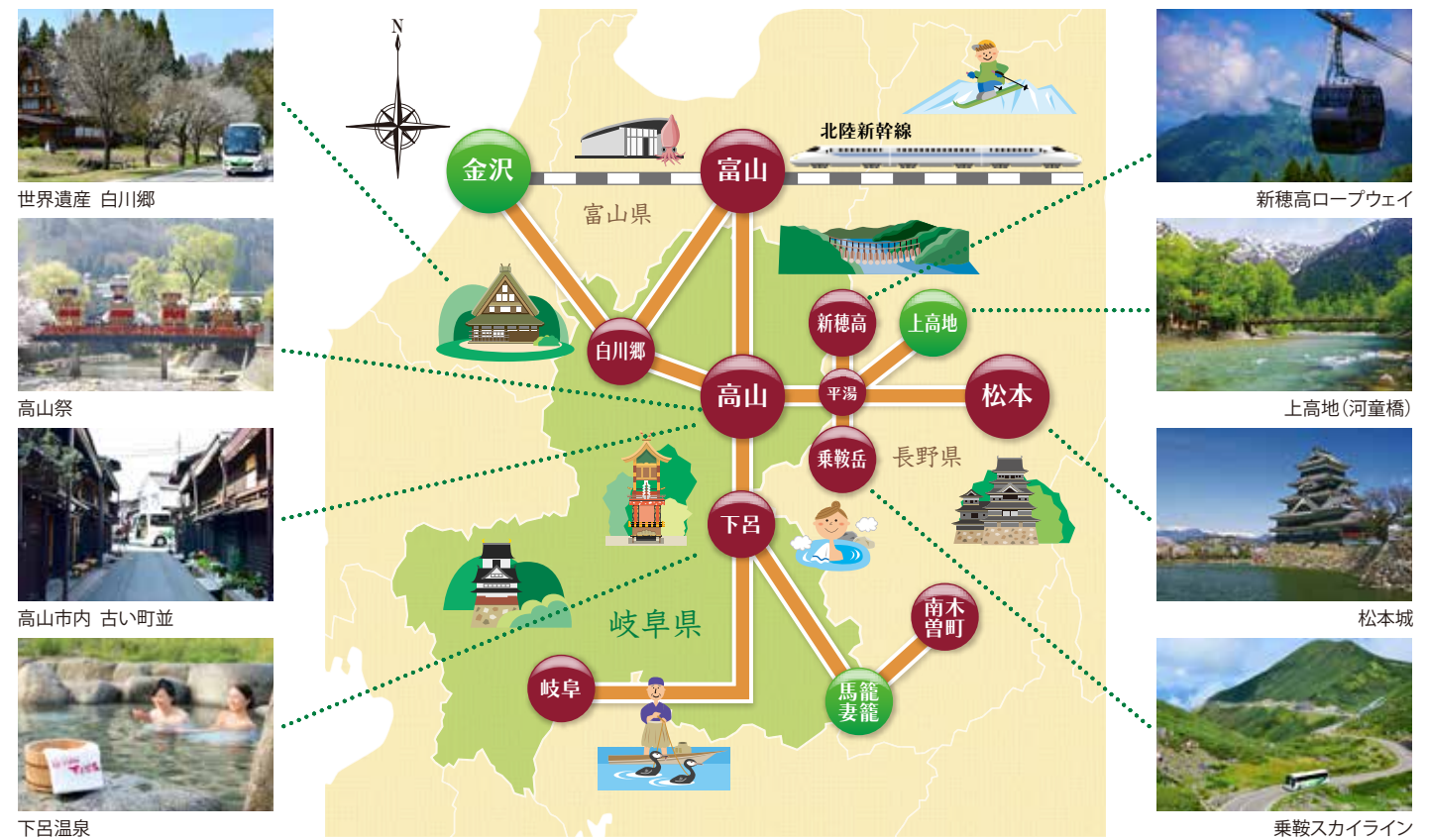


主な観光スポット 営業区域／岐阜県全域・富山市・松本市・南木曾町



濃飛バス

「安全」「安心」
お客様に優しい
快適なバスの旅

最新鋭の安全装備により「安全」「安心」をご提供 **当社他事業のご案内**



濃飛タクシー

〒506-1161 岐阜県飛騨市神岡町船津1950
TEL (0578) 82-1111 FAX (0578) 82-1228



アルミス街道 平湯

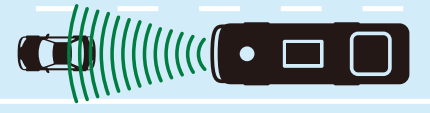
〒506-1433 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯628
TEL (0578) 89-2611 FAX (0578) 89-3028

1 ABA4 (衝突被害軽減ブレーキ)
前方に走行車両または静止車両があり、高精度ミリ波レーダーにより衝突の危険を察知すると警告や自動ブレーキによって衝突被害を軽減、または回避(条件が限られます)します。

2 アクティブ・アテンション・アシスト
白線認識カメラや各種センターの情報から運転注意力の低下が判断された場合、警報を発生する運転注意モニター。この機能にドライバーモニターカメラ(顔認識カメラ)を新たに搭載し、安全性を更に進化させました。顔認識カメラは顔の動きを捉え、運転注意を監視。左右のわき見や目の開閉状態を感知して、注意力低下をブザーと画面表示で警告します。

1 ABA4
衝突被害を軽減または回避

2 アクティブ・アテンション・アシスト
運転手の顔をカメラで監視



3 ESP (車両挙動安定装置)
旋回時等に車両安定性を向上

6 LDWS (運転席パイブレーター警報付) 車線逸脱警報装置

4 プロキシミティ・コントロール・アシスト
前方車を自動追従し疲労軽減

7 ドライバー異常時対応システム (EDSS)
異常が発生した場合に緊急停止する安全装置

5 流体式リターダー
強い制動力を生む補助ブレーキ

8 バスコネクト (BusConnect)
リアルタイムな情報を運行管理者へ提供

*車両により装備は異なります

濃飛乗合自動車株式会社

TEL 0577-33-7762 FAX 0577-34-9271

高山営業所 貸切センター
〒506-0053 岐阜県高山市昭和町1丁目258番地



(お問合せ・お申し込みは)

濃飛バスは、貸切バス事業者安全性評価認定制度で最高ランク「三ツ星認定」を受けております。

貸切バス事業者安全性評価認定制度とは…

ご利用のお客様にとって、どの貸切バス会社が安全性確保のための取組みを適切に行っているか、わかりにくい状況にあることから、日本バス協会が安全性に対する貸切バス会社の取組状況を評価・認定し、公表するものです。「SAFETY BUS」(セーフティバス)のマークは、お客様が安心してバス会社を選択できるよう、安全への取組みが優良なバス会社であることを示すシンボルマークです。



世界遺産 白川郷



濃飛バスは、安全・安心・快適なバスの旅をお届けいたします。

徹底した安全運転教育

定期的な適性診断の受診、事故防止集会の開催、ドライブレコーダーのデータによる運転指導等、徹底した安全運転教育を行っております。また、教育指導担当が全運転士の添乗指導を行い、安全運転、事故防止に努めております。

- 救命救急講習は、自社の救命救急普及員資格者が全従業員対象に実施
- 交通安全研修所(クレフィール湖東)での安全運転講習を全運転士が受講
- 乗鞍や上高地での山岳運転講習会、冬期は雪上運転講習を実施
- 運転競技会を開催し運転技能のレベルアップにつなげています。



乗務員の健康管理

運行管理者が産業医及び衛生管理者と協力して定期健康診断の受診により乗務員の健康状態を把握しています。また、健康診断結果に基づき保健師による面談・保健指導を実施しています。

- 定期健康診断・脳MR検診
- 睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査
- 点呼時血圧・体温測定
- ストレスチェック・メンタルヘルス研修会
- 健康相談、健康教室
- 長時間労働対策
- インフルエンザ予防接種の推奨



ぎふ健康経営認定事業所に認定されています

従業員が働きやすい職場環境を整え、従業員の健康を経営の重要な資源と捉え健康増進に積極的に取り組む事業所として全国健康保険協会岐阜支部より認定を受けております。(2020年8月認定)



365日24時間厳格な運行管理体制

出勤・退社の点呼時に、免許証リーダーで本人確認し、飲酒検査・血圧測定・検温を行い、体調を確認した後、当日の注意事項等を指示するなど、厳正な点呼を行っています。乗務員の運行記録は、終了点呼時にその場でチェック・指導した後、保存しています。

- 飲酒検査時の数値が、0.00mg/l 以外では乗務いたしません。
- 免許証携帯・有効期限もチェックします。
- デジタルタコグラフによる運行記録の保存を行うことにより、乗務員の運行状態(運転時間・速度等)について厳しいチェックと個人指導を行っています。
- 全車にドライブレコーダーを搭載、映像データを活用し事故分析、安全教育を実施しています。



GPS・IP無線を使用した車両管理システム

貸切車両全車にGPS装置を搭載しており、どこを運行しているかをリアルタイムで管理します。万が一、運行地域・車両に異常事態が発生した場合でもGPSを使った緊急連絡システムで状況に合った迅速な対応を行います。その他、IP無線搭載により、日本全国どこを走行していても緊急連絡が可能です。



確実な車両整備

車庫内に専用工場を併設し、自動車整備会社と年間整備契約を結び、確実な車両整備を行っています。全車毎月点検を行い定期点検は車検管理システムにて管理しています。



バス車内での感染予防対策

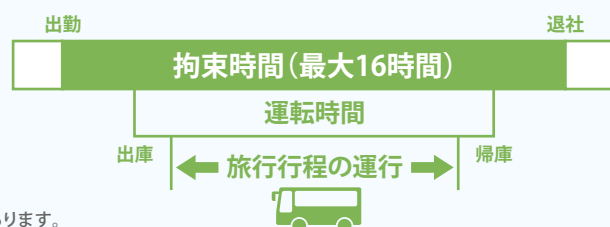
- 外気導入装置の稼働(約5分で車内の空気が入れ替わります)
- オゾン発生装置の稼働(貸切バス・高速バス)
- プラスマクラスターイオン発生機の稼働(ほぼ全車両)
- 運転席後部、アクリルパーテーションの設置
- 光触媒コーティングの実施



※車両により異なります

《バス運転士の労働時間等の厳守事項》

- ※1日の拘束時間は13時間が原則です。最大でも16時間が限度です。但し、運転士が2名以上乗務する場合は、1日最大20時間まで延長できます。
- ※1日の運転時間は、2日平均で9時間が限度です。
- ※見学・休憩場所から次の見学・休憩場所への連続した運転(連続運転時間)は、4時間が限度です。4時間以内又は4時間経過直後には必ず30分以上の休憩が必要です。
- ※1名乗務で1運行の走行距離は、最大480キロが限度です。
- ◎上記事項につきましては、法律にて定められた事項であり、他のバス会社も同等の遵守義務があります。



1 エアロエース I

AERO ACE

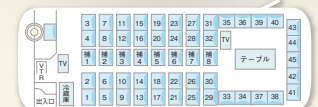
定員45名
(正座席45名、補助席0名)



2 エアロエース II

AERO ACE

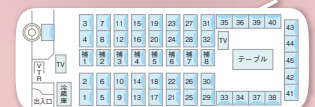
定員53名
(正座席45名、補助席8名)



3 セレガ

SELEGA

定員53名
(正座席45名、補助席8名)



4 エアロエース III

AERO ACE

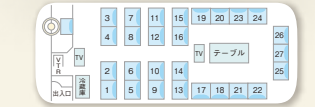
定員56名
(正座席49名、補助席7名)



5 エアロエース(中型)

AERO ACE

定員27名
(正座席27名、補助席0名)



6 エアロエース (3列)

AERO ACE

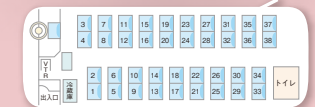
定員27名
(正座席27名、補助席0名)



7 エアロエース (トイレ付)

AERO ACE

定員38名
(正座席38名、補助席0名)



《オプション》



※オプションについてはお問い合わせください。